

立命館経済学 第二十六卷総目次(昭和五二年度)

論 説

	号	頁	頁
現代社会政策論の起点……………	三	好正己	三(三三)
七〇年代地方財政の特徴について……………	一	坂野光俊	三(三七)
価格不確実性下の完全競争企業……………	一	松川周二	七(七九)
人口流出と地域的産業構成の変化……………	二	杉野 罔明	一(八五)
産業資本主義段階における近代的独占の存在形態(三)……………	二	若林洋夫	英(四〇)
——北東イングランド石炭独占の歴史的 성격——	二	津島陽子	英(四〇)——二四(四八)
ブルードン信用論の展開……………	二	関 弥三郎	二五(三九)
——交換銀行論とその経済学的基礎理論について——	三	小牧聖徳	一四(一五)
寄与率についての一考察……………	四	三好正己	一五(一九)
戦後日本における現実資本と貨幣資本の展開……………	四	川本和良	一五(一九)
——量的指標と法則の貫徹——	四	北野正一	三〇(四二)
国家と労働者階級……………	四	岩田勝雄	一(八六)
——植民地労働者と民族自決権——	四	川本和良	三(六二)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と社会政策……………	五	川本和良	一七(三)
および中間層政策の展開(一)……………	五	北野正一	三〇(四二)
景気循環の一モデル……………	五	岩田勝雄	一(八六)
外国貿易の必然性再考……………	六	川本和良	三(八九)
三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と社会政策……………	六	川本和良	三(八九)
および中間層政策の展開(二)……………	六	川本和良	三(八九)

研究

タイ農民層分解の論理……………	田坂敏雄	三……四(四三)	八(四九四)
民生委員の階級的基盤……………	三富紀敬	三……八(四九五)	三四(五八)
現代日本企業税制の諸要因……………	藤岡純一	五……五(七七〇)	八(七九三)
独占段階の過剰資本……………	山本幹夫	六……七(四九四)	二〇〇(九六八)
財政危機下の総需要抑制策と景気浮揚策に関する一考察……………	東郷久	六……一〇(一九九)	二〇〇(九八〇)
独占価格の実態と方法的諸問題……………	佐々木秀太	六……二二(一九九)	一五(一〇三)

研究ノート

雇用理論に関するノート……………	河野快晴	四……四(六五)	七(六六)
------------------	------	----------	-------

資料

日本資本主義確立期の資本の存在形態(一)……………	後藤靖	一……一〇(一〇)	一五(一五)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(二)……………	後藤靖	三……三五(五九)	一七(五八)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(三)……………	後藤靖	四……七(六九)	二(七二)
日本資本主義確立期の資本の存在形態(四)……………	杉野暁明	五……五(七四)	一三(八五)

翻訳

R・トレンズ「国内貿易について」……………	杉野暁明	一……一(五)	一七(一七)
-----------------------	------	---------	--------

書評

芦田文夫著『社会主義的所有と価値論』……………岡本正
 『見田石介著作集 第一卷・ヘーゲル論理学と社会科学』……………角田修一

共同研究室

昭和五二年度第一回研究会「わが国における
 公式国民所得統計の発展」……………後藤文治
 昭和五二年度第二回研究会「不確実性下の
 企業行動理論」……………松川周二
 昭和五二年度第三回研究会「最近の
 地方財政危機について」……………坂野光俊
 昭和五二年度第四回研究会「ケインズ経済学の
 再解釈をめぐって」……………河野快晴
 昭和五二年度第五回研究会「伸び率・寄与率・構成比率」……………関弥三郎
 昭和五二年度第六回研究会「独占と景気循環の変容」……………北野正一
 昭和五二年度第七回研究会「現代ソ連経済と民主主義」……………小野一郎
 昭和五二年度第八回研究会「社会思想の論理構造序説」……………浜崎正規
 昭和五二年度第九回研究会「近代天皇制
 研究の動向と問題点」……………後藤靖
 昭和五二年度第十回研究会「英国留学を終えて」……………小野進

一……………一七三(七三)——一八四(八四)
 二……………一九(三七七)——二二(三九九)
 二……………二二三(三九七)——二五(三九九)
 二……………二二五(三九九)——二七(四〇一)
 二……………二二七(四〇一)——三二(四〇五)
 二……………三三(四〇五)——三七(四一七)
 二……………三七(四一七)——三九(四二三)
 三……………七四(五八八)——七六(五九〇)
 三……………七六(五九〇)——七六(五九〇)
 五……………三四(八四六)——三七(八四九)
 五……………三七(八四九)——四三(八五四)
 五……………四三(八五四)——五三(八六五)

昭和五二年度第十一回研究会「総需要抑制策と 景気浮揚策について」……………東郷久	五……………一五(六五)——一五(六五)
「独占価格の実態と 分析方法の諸問題」……………佐々木秀太	五……………一五(六五)——一五(六五)
昭和五二年度第十二回研究会「過剰資本と独占支配」……………山本幹夫	五……………一五(六五)——一五(六五)
昭和五二年度第十三回研究会『罪と罰』(ドストエフスキー の背景)……………奥村剋三	五……………一五(六五)——一五(六七)
本年度会員業績……………	六……………一五(〇〇〇)——一五(〇〇三)